

令和7年度 第2回 京田辺市高齢者保健福祉計画委員会

議事録【要約版】

*議題（1）高齢者保健福祉計画アンケート調査結果について

○質問・意見

【委員】「京田辺市は認知症の方が安心して暮らせると思うか」について、「どちらかといえば安心している人」が13%くらいだが、一方「そう思わない人」も12%くらいとなっている。126ページのその理由を見ても、「施設やサービス、相談窓口が整備されているから」と「認知症対応の施設やサービスが不足しているから」が並んでいて、そのギャップを感じる。なぜ、このようになっているか分かるだろうか。

（事務局）確かに、全く反対の理由が上がっている。施設やサービスがどれだけあれば安心できるのかについては、正直つかめていないが、まず大事なこととして、適切に介護に関する資源の情報提供をして、情報を知りたい人のところに届けることが第一だと考えている。

【委員】計画にする際は、情報を把握し、判断することが大事だと思う。

【委員】介護調査アンケートの回答率・回収率の問題だが、回答してくる人は積極的な人や活動性の高い人の割合が恐らく高いと思う。現在介護が必要な人に関しては、質問に答えられる、またはポストへ調査紙を投函できる人が少ないと思う。回収率も55.5%となっているので、本当に調査が必要な人は、むしろ回答ができていない人であり、44.5%の中にこそ重要な情報があるかもしれない。介護が必要な人については、介護支援専門員（以下、ケアマネ）等を通じて調査をするのも1つの方法だと思う。いかがだろうか。

（事務局）介護調査アンケートについては、回答できない方もいるというのは永遠の課題であると思っているが、時間的な制約や人の制約があるのは事実である。現在できることとしては、またいろいろな会合等の別のところで声を拾っていくことも想定したい。

【会 長】委員が言われたように、ケアマネが一番情報を集約しているケースが多いと思うので、ケアマネ等のご協力を得て、配布や回収を進めていくのは、重要な視点だと思う。

【委 員】62ページと107ページの「市の相談窓口の認知度」で、「地域包括支援センターを知らない」という比率が高いと思う。「地域包括支援センター」は行政用語であるし、法律の中にも記載されているので変えるのは無理だと思うが、極めてこれは概念的な言葉で、医療従事者にも分からない表現は、一般の人が分からなくても当然だと思う。もし「高齢者相談センター」という名前であったら、気軽に相談できると周知につながるので、名前の表現はアクセスが遠ざかる1つの大きな要因ではないかと思う。

(事務局) 委員からは、8期のときにもご指摘をいただいたので、広報ほっと京たなべ9月号で、地域包括支援センターの特集記事で写真を載せ紹介した。全ての市民に配布した。

【委 員】括弧で「(高齢者相談センター)」などして、呼称として使うことはできないのだろうか。

(事務局) 他市町では、併記したり、あるいは愛称のほうを前面に出したり、いろいろな運用をしている。

【委 員】「あんあん」という愛称が、余計に何のことか分からなくしていると思う。

【委 員】老人会で12月5日に、1時間くらい地域包括支援センターについての学習会をした。大住地区で行ったが、119名の参加があった。学習会のあと、老人会の会長に発言してもらったが、83歳の夫婦なので、今後、困ったらどうしようと話していたそうで、今日の話聞いて本当にすっきりしたと言ってくれた。また、参加者の感想文では、「初めて聞いた」という意見が本当に多かったので、やって良かったと思った。せつかく市として出前講座をやっているのもっとやっつけていけば、もっと広がると思う。「あんあん」という名前もそうだが、いろいろなことをしていかなないとなかなか広がらないと思うので、このような取組が大事だと思う。

それから、資料2の5ページだが、令和7年度を見ると非正規職員の離職者が、令和4年度と比べてとても多いが、なぜ辞めたのだろうか。

【会 長】委員の肌感覚で何か分かるだろうか。

【委 員】うちのデイサービスでは、この10年間誰もスタッフは辞めていないのだが、ほかの事業所の話を知ると、人間関係や働き方、働く時間などが合わないということはよく聞いている。

【会 長】資料の非正規が増えている理由について、事務局では何か把握しているか。

(事務局) 今回の調査では把握できていないが、事業所ヒアリングを行うので、そこで拾っていきたいと思う。

【会 長】9ページに「ICT・AI・ロボットの導入」とあるが、これはDX（デジタルトランスフォーメーション）の一つでもあり、高齢者介護の分野においてデジタル人材をどのように活用していくのか、また育成していくのが課題となっている。

【委 員】なかなか進んでいないという現状がある。介護業界の中では、AIは難しいという感覚が根強いと思う。

【会 長】それは、職員の年齢構成を見ていただくと、なかなか難しい状況にあると思う。

【委 員】2点意見がある。71ページの「今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」で、「サロンなどの定期的な通いの場」という項目があるが、私が地域の居場所づくりとしてサロンをやる中で、「どんなことをしてほしいか」というアンケートを取ると、「そこに行けばいつも誰かがいて、おしゃべりしたり体操したりできるような場所がほしい」という希望が、特に独居の高齢者で増えている。老人会や区でやっていたのが、コロナをきっかけにうちの自治会でもやらなくなっている。行政の支援がないとなかなか継続ができないので、住民主体の居場所づくりをどこか計画の中に入れていただければと思

う。それから、もう1つは事業所の関係だが、団塊の世代の後期高齢者が多くなって、住み慣れた地域で住み続けるには在宅介護が必要になってくると思う。そうなると、デイサービスや訪問介護がかなり必要になってくるが、介護を担う職員がかなり不足しているというデータが出てきている。国でも介護報酬の前倒しをしたり、処遇改善も1月からされたり乗り出してきているが、まだまだ収入の差は歴然としている。そのような中、人材確保をしようと人材紹介会社に30~40万円も払って来てもらっても、1年後辞められるということを繰り返していると思う。人材確保や人材育成の支援についても、計画に入れていただければと思う。

【会長】介護職員の給与については、高齢者保健福祉計画に盛り込むのは難しいと思う。それは、国が介護報酬の算定で、介護報酬処遇改善交付金というのを出すので、それで対応することになる。住民主体の居場所づくりについては、社協で対応していると思うが、いかがだろうか。

【委員】社協で言うと、従前から続けてきている取組が多いが、今の状態で十分できているのかと質問されると、拡充なり対象者を広げていくことが必要だと感じている。

【会長】住民主体の居場所づくりは、社協と行政が車の両輪のように動くことが必要だと感じた。

【委員】居場所づくりについては、月1回市役所から来ていただいてお話を聞いたり、自分たちでビデオを見て体操をしたりしていると聞いているが、調査結果を見ると大きくは伸びきっていないように思う。せっかく集まって、補助金も出しているのだから、もう少し活用できることを考えられないかなと思う。

(事務局) 今、42の自治会の中で、半数を超える25の自治会で自主的な居場所づくりに取り組んでおり、どんどん進めたいと思っている。ただ、居場所のリーダー格の方が高齢になってくると、活動もしんどくなってきて動きが鈍化してくる恐れはある。そういうところのテコ入れもしつつ、新しいところも増やせるように取り組んでいるところがある。魅力アップの施策も考えながら、維持しながらやっているのが

現状である。

【会 長】居場所づくりは、社会とのつながりであり、介護の予防にもつながるので、とても重要だと思う。ぜひ、ご検討いただきたい。

【委 員】アンケートの回答については、常日頃、自分が仕事で関わっている中で感じていることなので、これが本当に生かしていければいいと思う。

【委 員】我々の自治会でもいきいき体操をやっているが、それを推進されている方がご高齢になって、今後どうするかという話に今まさになっていると聞いている。私たち民生委員も老人会も同様に高齢化は避けて通れない。だから、高齢化が進む地区で下支えとなる自治会、老人会、民生委員を永続的に続けられる仕組み作りが課題であると思う。

【会 長】居場所づくりにおいても継続的に安定的にバージョンを上げながらやっていくのはなかなか困難である。しかし、介護予防にもつながり、高齢者の方がいつまでもしあわせに過ごすという大きな目標でもあるので、灯をともし続けなければならない。調査の中でもそれが表れてきているので、また10期で反映しながら進めていきたいと思っている。

【委 員】先ほどから出ている居場所事業だが、いきいき体操を25か所で週に1回、自主的に安定的に実施している。課題にあったとおり、リーダーの担い手がいないという相談を何度も聞いている。今までずっと同じような内容で続けてきて、慣れているからしっかりできるという良い面もあるが、新しい刺激がほしいという部分も肌で感じているので、今新しいことを考えているところである。

【委 員】今の話で言うと、市と協力して絶えず工夫しながらプログラムをおこなっている。具体的には体操だけでなく、学習会をしたりと幅広い内容になっている。時間は、9時からと10時半からと行っており、実際に利用者数が増えてきている。大事なことなので、市と協力してやるというのが発展の要になると思う。もう1つは居場所が少ないので、居場所づくりにもご協力をよろしくお願ひしたい。

【会 長】住民主体の居場所づくりをご検討いただければと思う。社会福祉協
議会さんもその参画にぜひお力添え願いたいと思う。

*議題（2）その他について

【会 長】その他、事務局より連絡等があるか。

（事務局）なし